

保護者様

「性についての学習会」を終えて（生徒の感想と資料掲載のお知らせ）

6月16日（金）の5、6時間目に、全校生徒を対象にした「性に関する学習会」を開催しました。市内の婦人科病院で看護師として活動されているAさんを講師にお迎えし、これまで、学校の授業ではなかなか指導できなかった「性」に関するお話をさせていただきました。

2次成長期、思春期・反抗期の体と心の状態について具体例を挙げて的確に説明してくださったり、性的なこと、異性との付き合い方、SOG I（性的嗜好と性自認）、性的な悩みの相談機関などについて幅広く教えてくださいました。3学年一緒に話を聞いたため、理解や関心度に個人差が大変大きく、捉え方も様々でしたが、生徒たちにとって大変、意義深い学習となったと思います。

ここで、生徒からの感想コメントをいくつか紹介します。

- 異性の体のことが知れたので、これからは人の体も自分の体も大切にしようと思った。
- 男子に女子の体のことや月経について知ってもらえてよかった。
- 好きになる人は異性でも同性でもいいことが分かった。男女関係なく接することが大切だと思った。そして、これからはこのことに配慮して行動しようと思った。
- こういう話は、聞くのも話すのもあまり好きではないですが、いつもの講話よりも気楽に聞くことができました。困ったときは、早目に周りの人に相談をして不安を解消できるようにしたいです。
- 恥ずかしいことでも誰かに相談するということが特に心に残ったことです。
- 性のことについて知らないことはすごく危ないことなんだと改めて思った。正直、あんまり聞きたくない話だったが、知っていないと後々、恐ろしいことになるから、よく聞き、理解をしていかないとけないと思った。
- 僕が思っていたこととは違い、性というものは体と心がつながっているものだと思ったし、性被害に遭った人は、体だけではなく、心までも傷が残ってしまうから絶対に許されないことだと思った。
- 「見せない・触らせない・撮らない」「見られない・触らない・撮らせない」被害を防ぐ合い言葉
- 「こっちの気持ちを無視して触ってきたり、自撮り画像を送るよう強要する相手とは、別れなさい。」まったくその通りだと思う。
- やってみようという好奇心だけでは済まされないのが性的な行動なんだと思った。
- 反抗期とは、乱暴な言葉を使うことなんだと聞いていたけど、実際はそんな行動は、「手段の一つ」と言うことを聞いて驚きました。
- 反抗期の本当の意味を知った。まだ、中学生のうちには一人では何もできないから何かあったら親に相談しようと思う。
- 性感染症があるということは知っていたけど、死に至るほど危ないケースもあるんだということを知って怖かった。
- 女性も大変だけど、男性も大変なんだなあと思いました。

裏面は講師からいただいた資料の一部です。学校のHPに全文を掲載しますのでご覧ください

